

授業科目 看護診断学

【担当教員名】 目黒 優子		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○			○	
【概要・一般目標：GI0】 NANDA-I 看護診断の構成要素について理解し、看護診断を用いて看護過程を展開する基礎を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 看護過程における看護診断について説明できる。 2. NANDA-I 看護診断の構成要素について説明できる。 3. NANDA-I 看護診断を用いて事例展開できる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1 2・3・4 5・6・7 8	看護過程と看護診断 NANDA-I 看護診断の構成要素 NANDA-I 看護診断を用いた事例展開 まとめ	1 1・2 3	講義、担当：目黒 優子 講義、担当：目黒 優子 講義・演習、担当：目黒 優子 講義、担当：目黒 優子		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	NANDA-I 看護診断：定義と分類 2014-2016 (※現在未発売)	T. ヘザー・ハードマン、	医学書院	3,000 円＋税 日本看護診断学会	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 レポート 80%程度、小テスト：20%程度		【履修上の留意点】			